

◆第一号一様式、第二号一様式、第三号一様式の出力方法

(画面例はすべて「PCA 社会福祉法人会計シリーズ バージョンDX」を使用しています。)

「決算処理」－「決算書」から作成できます。

- ① [条件指示] の [事業区分/拠点区分/サービス区分/管理グループ] で [指定なし (法人全体)] を選択してください。

条件指示

出力の種類
 画面 (W) 印刷等 (P)

集計期間 (Q)
 期首日 (令和 3年 4月度) ~ 令和 4年 3月度
 仕訳区分 (J)
 4月 1日 4月 2日 ~ 3月30日 3月31日
 月初仕訳 ~ (全仕訳) ~ 決算仕訳

層の選択 (G)
 西暦 和暦
 備考欄 (N)
 0:出力しない

出力科目内容の設定 (B)
 基本指定 科目展開パターン
 出力階層 主科目 中科目 小科目
 見出し科目 出力しない 出力する
 補助科目 出力しない 出力する

出力科目内容の設定 (財産目録) (S)
 標準 科目展開パターン
 <新規作成>

内部取引消去 (I)
 自動集計しない 自動集計する
事業区分/拠点区分/サービス区分/管理グループ (M)
事業区分/サービス 指定なし (法人全体)

出力単位 (U) 評価勘定の出力方法 (貸借対照表) (L)
 そのまま出力 0:科目ごとに出力

その他の設定 (O)
 税込で出力する 0円の科目も出力する
 貸借対照表の現金預金の内訳を出力する タイトル調整を財産目録に反映する
 前年度実績を期末日まで集計する

起動時にこの画面を表示する

画面出力 (F5) キャンセル ヘルプ (F1)

[内部取引消去] 機能を反映させるには、[内部取引消去] を [自動集計する] にしてください。
 ※仕訳に内部取引消去消去のフラグを付けている場合は、[設定] から [内部取引消去対象科目] を選択する必要があります。

条件指示

出力の種類
 画面 (W) 印刷等 (P)

集計期間 (Q)
 期首日 (令和 3年 4月度) ~ 令和 4年 3月度
 仕訳区分 (J)
 4月 1日 4月 2日 ~ 3月30日 3月31日
 月初仕訳 ~ (全仕訳) ~ 決算仕訳

層の選択 (G)
 西暦 和暦
 備考欄 (N)
 0:出力しない

出力科目内容の設定 (B)
 基本指定 科目展開パターン
 出力階層 主科目 中科目 小科目
 見出し科目 出力しない 出力する
 補助科目 出力しない 出力する

内部取引消去 (I)
 自動集計しない 自動集計する

事業区分/拠点区分/サービス区分/管理グループ (M)
 事業区分/サービス 指定なし (法人全体)

出力単位 (U) 評価勘定の出力方法 (貸借対照表) (L)
 そのまま出力 0:科目ごとに出力

その他の設定 (O)
 税込で出力する 0円の科目も出力する
 貸借対照表の現金預金の内訳を出力する タイトル調整を財産目録に反映する
 前年度実績を期末日まで集計する

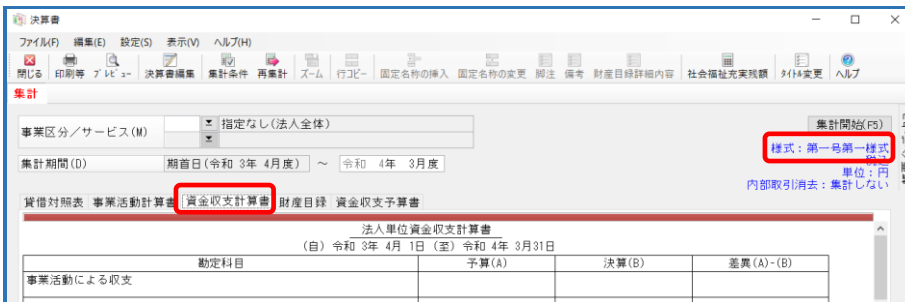
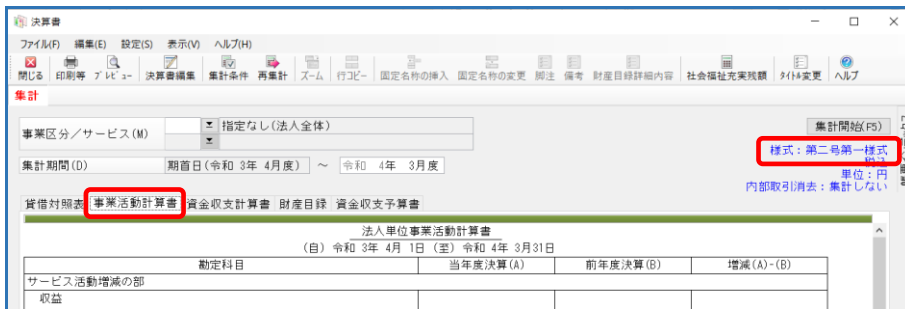
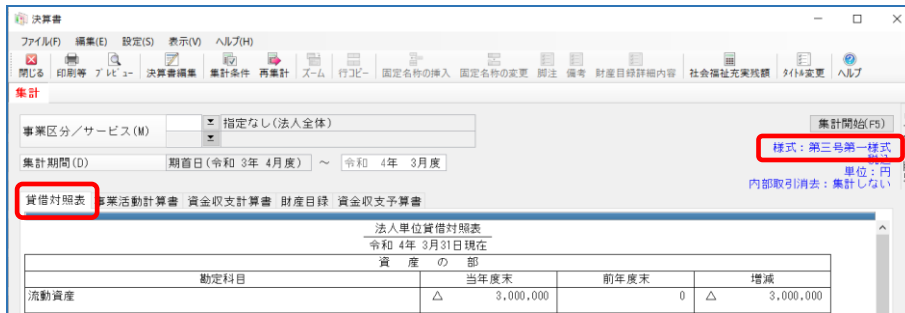
起動時にこの画面を表示する

内部取引消去科目の設定

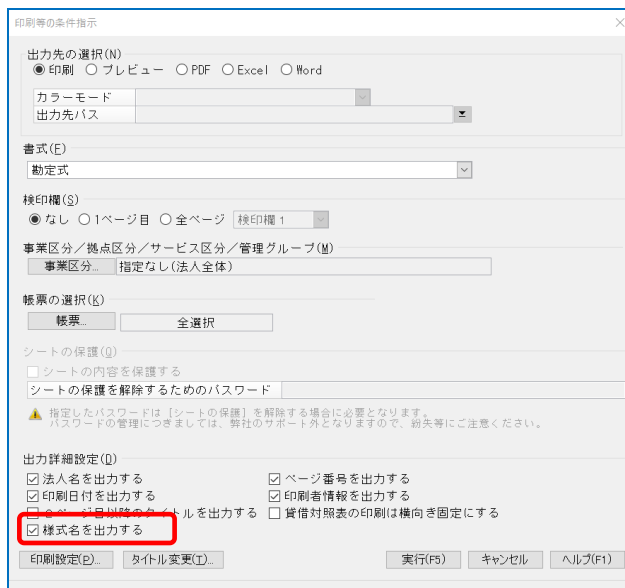
主科目 (K)	内部取引消去科目 (I)
111 現金	180 1年事業貸付金
112 小口現金	181 1年拠点貸付金
121 当座預金	182 1年サー貸付金
131 普通預金	185 事業区分貸付金
139 納税準備預金	187 拠点区分貸付金
140 貯蓄預金	188 サー区分貸付金
141 通知預金	245 事業長期貸付金
142 他流動性預金	247 拠点長期貸付金
143 定期預金	248 サー長期貸付金
148 定期預金	321 1年事業借入金
149 他固定性預金	323 1年拠点借入金
151 有価証券	324 1年サー借入金
155 事業未収金	337 事業区分借入金
157 未収金	339 拠点区分借入金
158 未収補助金	340 サー区分借入金

設定 (F5) キャンセル

② 画面出力し、[貸借対照表] [事業活動増減計算書] [資金収支計算書] 右上の様式の表示をご確認ください。



③ 印刷や、Excel 転送の際に、様式名を出力希望な場合は、[印刷等の条件指示] - [出力詳細設定] の [様式名を出力する] にチェックをいれてください。



【補 足】

同条件で出力した〔財産目録〕は〔別紙4〕となります。

